

本校スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業では、課題研究を研究開発の軸に据えています。SSH 事業の開始以来しばらくは理数コースの生徒のみが課題研究に取り組んでいましたが、平成 29 年度より全員が取り組むこととなり、現在は以下に示す計画で実施しています。学校全体のカリキュラムと連動させることを意識し、全校体制で 3 年間を通した計画的な指導を行うことで、生徒が主体的な学習態度とコンピテンシーを獲得し、科学技術系トップ人材に必要な資質・能力を育成できると考えています。

68 期生は、第 4 期の開始とともに新たな事業デザインのもとで課題研究を実施した初めての学年であり、生徒は課題研究およびそれに係る諸取組を通して様々な資質・能力を身に付けることができました。また、それらの評価・検証を通し、課題研究という教育プログラムの有効性を改めて認識するに至りました。

普通科 2 年次学校設定科目「江風 SSG」は、1 年次総合的な探究の時間の取組「江風探究ユニット」の取組のもとに学年全体で取り組む課題研究活動であり、学年主任が主体となり、全職員で生徒の指導にあたっています。

	普通科	理数コース
1 年	学校設定科目「江風 SS I」(1 単位) ・実験手法の獲得、各分野のミニ課題研究	
	<u>総合的な探究の時間「江風探究ユニット」</u> 課題研究を展開するために必要な能力を分析し、それらの諸能力群の総称を「探究力」と名付け、全 5 ユニットを通じて身に付けさせることを目標として通年で実施する ・1 学年主任が中心となり、主に 1 学年の担任・副任が指導を行う ・各ユニットとも、学校独自に作成したワークシートに基づいて活動する ・課題研究の一連の流れをデフォルメして実施する ・新潟市の地域課題の解決をテーマとし、地域との共創という側面も持たせる ・2 年次普通科『江風 SSG』に向け、教員にとっても“探究活動指導の研修”の機会となる ⇒ やるべきことを明らかにすることで、全ての教員が、課題研究の指導ができるようになる	
	<u>江風探究ユニット発表会 (12 月)</u> ・新潟市の担当者、中高大教員、産業会に向けた、研究成果の発表会	
2 年	学校設定科目「江風 SSG」(1 単位) ・学年主任が中心となり計画・運営 ・授業担当者は全科目から計 18 名。ファシリテーターとして指導。全職員で添削指導を行う	学校設定科目「江風 SS II」(3 単位) ・担当者(2 年理数コース担任)が年間計画を作成し、研究指導は理科・数学・英語が中心 ・段階的に複数回の中間発表を行う
	<u>江風 SSH 中間発表会 (11 月)</u> ・理数コース全生徒・普通科希望生徒による、課題研究の中間発表会 兼 指導会	
	<u>江風グローバル研修 (アメリカ合衆国海外研修) (2 月)</u> ・理数コース全生徒・普通科希望生徒が参加。英語による課題研究発表を実施	
<u>SSH 成果発表会 (3 月)</u> ・「江風 SSG」の最終発表、兼「江風 SS II」の中間発表会。理数コース・海外研修参加者は英語で発表する		
3 年	※成果の普及事業に参加 ※「江風グローバルシンポジウム」に参加する	学校設定科目「江風 SS III」(1 単位) ・海外研修の指導助言のもとに追実験を行う
	<u>江風グローバルシンポジウム (7 月)</u> ・メインテーマは「社会との共創」。課題研究を通じた社会参画を意識させる ・「江風 SS III」の最終発表会、「江風 SS II」のテーマ紹介も兼ねる	

